

## 校長式辞

花冷えの続くこの四月も、ようやく春めいた暖かさを感じる今日となり、いよいよ新しい年度の始まりを迎えました。

本日ここに、令和7年度 東京都立大森高等学校 全日制課程 第80回入学式を挙行するにあたり、御多用の中御臨席賜りました、御来賓の皆様、謹んで御礼申し上げます。

ただいま呼名を受け、正式に大森高等学校の生徒となった 88名の新入生の皆さん、改めて入学おめでとう。皆さんを大森高等学校の仲間として迎えることができ、大変うれしく思います。期待と不安とが入り混じった気持ちで、今日を迎えたことと想像します。三月二十四日の入学前説明会で、校長通信という配布物に沿って「わかる・まもる・つかむ・つなぐ」という話をしましたが、春休み中に準備を進めながら、高校生になるのだ、という自覚はできたでしょうか。

保護者の皆様におかれましては、この入学式を迎えるまで、お子様を支えながら、様々なご苦勞もあったこととお察しします。改めて本日、この晴れの日を迎えられましたこと、校長として共に喜び申し上げます。本校の教育活動を御理解いただき、これから始まるお子様の高校生活について、私たち教職員と力を合わせて、引き続きご支援いただきたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

まず、先ほどの「わかる・まもる・つかむ・つなぐ」から、振り返りましょう。「わかる」は、学習指導を象徴する言葉です。そして、「まもる」は、学校生活上のルールやマナーに関する言葉です。では、「つかむ」とは何を、でしょうか。皆さんは、大森高校に入学する、という機会をつかみ取ったから、今、ここに居る訳です。高校生活では、毎日の授業以外に、様々な機会が提供されます。また、卒業後を見据えて、多くの情報も提供されます。皆さんは、それらを、自分の意思で、主体的につかみ取っていく必要があるのです。高校の3年間は、多分、中学校時代よりも早く過ぎ去っていきます。与えられた機会や情報をもれなく「つかむ」ことが、自分の未来を切り拓いていくためには大切なことです。周りに流されるのではなく、自分のことは自分でしっかりと考え判断して行動する、それが主体的、ということだからです。そして、高校生活で出会う人や制度とうまくつながるための「つなぐ」です。主体的に生きようとすれば、困難にぶつかることもあります。その時に、自らSOSを発する力があることも大切です。様々な解決方法を得るためにも、「つなぐ」を意識してください。

さて、校門の右に掲示してありますが、大森高校には、「敬愛 誠実 努力」という校訓があります。それは、変わりやすく、不確実で、複雑で、曖昧な時代、と言われる現代を生きていくために、「人間として求められる、身に着けておくべき力」の象徴でもあります。どのような時代であろうとも、人間として本当に大切にしなければならない考え方は変わらないからこそ、校訓として、この三つの言葉が引き継がれてきたのです。人を敬い愛することを大切にし、まじめな真心をもち、努力を怠らない、口で言うのは簡単ですが、本当にその通りに生きることは決してたやすいことではありません。また、皆さんの学年は、国際色豊かな、これからの共生社会の縮図のような集団となりました。では、「敬愛 誠実 努力」は、どのように行動で示せばよいでしょうか。

まず一つ目、「敬愛」について。どうか皆さん、礼儀正しい人でいてください。礼儀正しさを、先輩や先生のような目上の人に対してだけでなく、同級生同士であっても、家族であっても、町ですれちがう知らない人に対してであっても、いつも発揮できる大森高校生であってください。無礼な人は、どのような世の中でも、信頼を得ることが難しくなります。中でも、最も簡単な礼儀正しさの表現は、挨拶をすることです。挨拶を交わす、ということは、私はあなたのことを認識していますよ、ということ表現する最も基本的な方法であるからです。

二つ目、「誠実」であるためには、話をよく聞き、物事をよく考える人であることです。考えすぎて行動できなくなるのも困りますが、考えなしに行動して迷惑をかけるよりは、余程、誠実であることに近づくはずで、他人に対して誠実であることはもちろん大切ですが、その前に、まず、自分に対して誠実であってください。その場限りの感情で動くのではなく、今、自分に何が求められているのか、何をすべきであるのか、しっかり考えて行動できるようになること、それが自分に対して誠実である、ということ。つまり、動物的な本能とは違う、

理性を発揮すること、それが「誠実」の実現につながります。

三つ目、「努力」、これはいちいち説明の必要もありませんが、但し、努力のレベルは際限なくあるものです。自分が努力した、と思ったことが、別の人にとっては普通だよ、ということもあるわけです。ここにいる全員が、大リーグの大谷選手のようなスーパースターになれる訳ではありません。だからこそ、高校生という若い、けれども成人になる直前のこの時期に、高校という場で、様々なことを通じて様々な価値観に出会い、自分のレベルをいつもアップデートしていく「努力」が必要なのです。皆さんの若さは、まだまだ未熟でいくらでも変化できる可能性に満ちています。3年間の努力の成果が、卒業を迎えるその時に、進路実現という一つの成果となっていることを期待しています。

ともかく、皆さんの大森高校での3年間が、充実した人間力育成の時間になることを、私は心から願っています。「敬愛 誠実 努力」は、本校の80年に及ぶ歴史の中で、先輩方が脈々とつないできた、大切な校訓です。皆さんだけでなく、在校生たちにも、まず入学式で、そして始業式終業式など機会あるごとに、度々伝えてきました。どうぞしっかりと記憶して、日々の学校生活を送ってください。そして、皆さんの後輩に、さらにバトンをつないで行ってください。

結びに、私たち教職員一同、この大森高等学校に迎えた新入生の皆さんを、校訓を実現し、人々に愛され社会に貢献できる人間として送り出すまで、確実に育てることをここにお約束し、式辞といたします。

令和7年4月8日

東京都立大森高等学校長 池田 美穂